

マーケットの動き（2022年3月7日～3月11日）

先週の国内株式市場は、前週末比で下落しました。

週の前半は、ロシアへの経済制裁や原油価格の高騰がインフレを加速させ、世界経済に影響を及ぼすとの懸念が広がり下落しました。10日はOPEC（石油輸出国機構）加盟国による原油増産の思惑から原油価格が急落したことを好感し、日経平均株価は全面高となりました。しかし、米国CPI（消費者物価指数）の高い伸びを受け米国金利が上昇したことから、週末にかけて再び下落に転じました。

投資環境見通し（2022年3月）

国内株式相場は割安感がみられるも、方向感はいにくい

10～12月期の企業業績は堅調で、先行きについても中国景気の底入れに加え、新型コロナウイルスの国内感染拡大が一服すれば、拡大基調は鈍化しながらも維持できるとみえています。一方、株価水準については、米国や欧州に比べ割安感がみられる一方、これらの地域の金融政策正常化のペースに対する投資家の見方はまだ分かれています。当面の国内株式相場は海外市場の相場動向に影響を受けやすく、変動率の高い状況が続くとみられ、米国や欧州の金融政策に加えてウクライナ情勢を巡る先行き不透明感が残り、方向感はいにくいとみえています。

	3月11日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	1,799.54	▲2.46%	▲6.79%	▲14.21%	▲6.51%
日経平均株価	25,162.78	▲3.17%	▲7.08%	▲17.36%	▲13.86%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

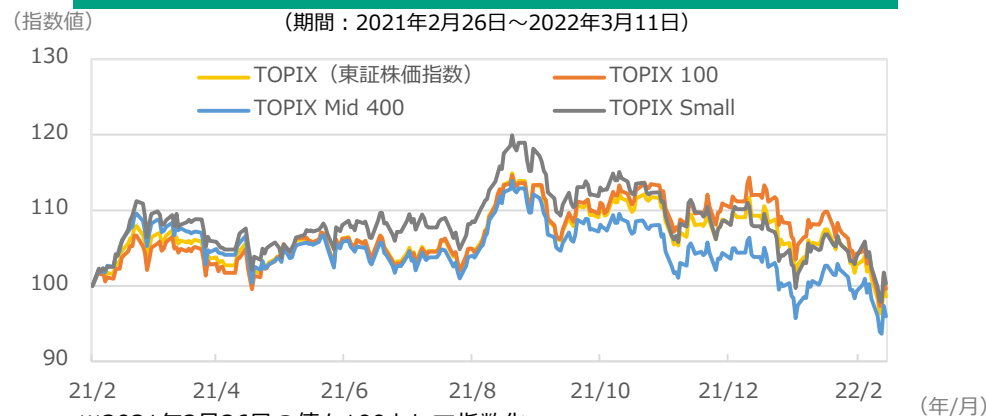
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202203_outlook.pdf

日経平均株価、TOPIXの推移



TOPIX規模別指数の推移



※2021年2月26日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>